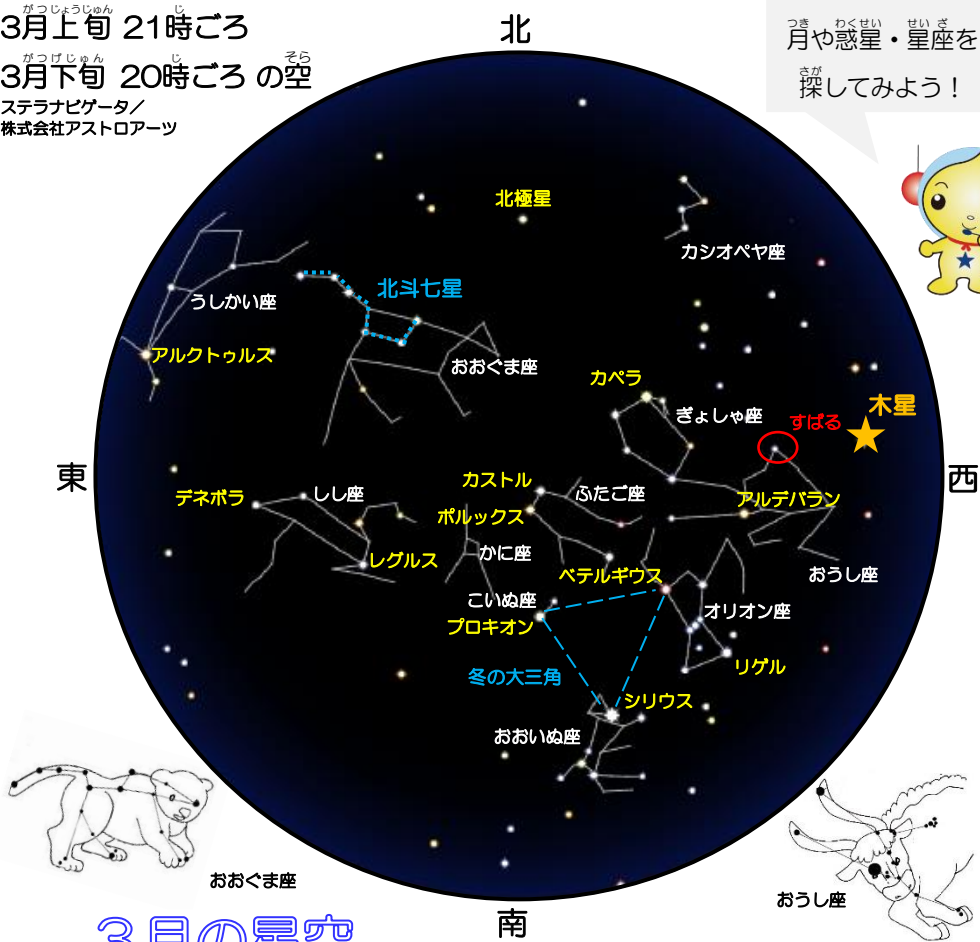


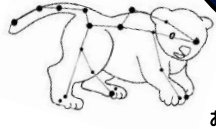
月刊 星空の散歩道 3月号

2024年

3月上旬 21時ごろ
3月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ



つぎ 月や惑星・星座を
さが 探してみよう!



おおぐま座



おうし座

3月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西から南の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > おうし座 (アルデバラン)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
- < 天頂 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルックス)
- < 南 > おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 東 > しし座 (レグルス、デネボラ)、うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 北 > 北極星、カシオペア座、おおぐま座

☆天文トピック☆

3月13・14日 月と木星が並び
日没後、西の空で月と木星が近づいて見えます。

3月15日 月とプレアデス星団が並び
日没後、西の空でとても月とプレアデス星団がとても近づいて見えます。双眼鏡で月とプレアデス星団を見てみましょう。

3月20日 春分
太陽が春分点 (天の赤道と黄道の交点) を通過する日。

☆月の形の変化☆

- 3月4日 下弦
- 3月10日 新月
- 3月17日 上弦
- 3月25日 満月

☆3月の惑星☆

木星…日没後、西の空

<天文コラム> 散開星団

双眼鏡で夜空を眺めていると、一か所に星々が集まっているように見える天体があります。このような天体を「星団」といい、数万～数十万個の星がひとつの球状に見えるものを「球状星団」、数十～数百個の星が比較的まばらに集まっているものを「散開星団」と呼んでいます。

一般的に、星間物質は低密度で、広大な領域に分布していますが、これが何らかの原因で高密度になった場合に、新たな星々 (恒星) が生まれてくるとされています。また、星が生まれるとき、多くの場合は単独で生まれるのではなく、数十、数百の単位でまとまって誕生すると推察されています。散開星団は、そのようにして生まれてきた星を少し離れたところから見た姿であると考えられています。

散開星団のひとつに、おうし座の「プレアデス星団 (すばる)」があります。条件の良い空では肉眼で5～7個の星々が見えることもあり、昔から人々に親しまれてきました。今夜、晴れていたら左の星図を頼りに、探してみませんか。

